

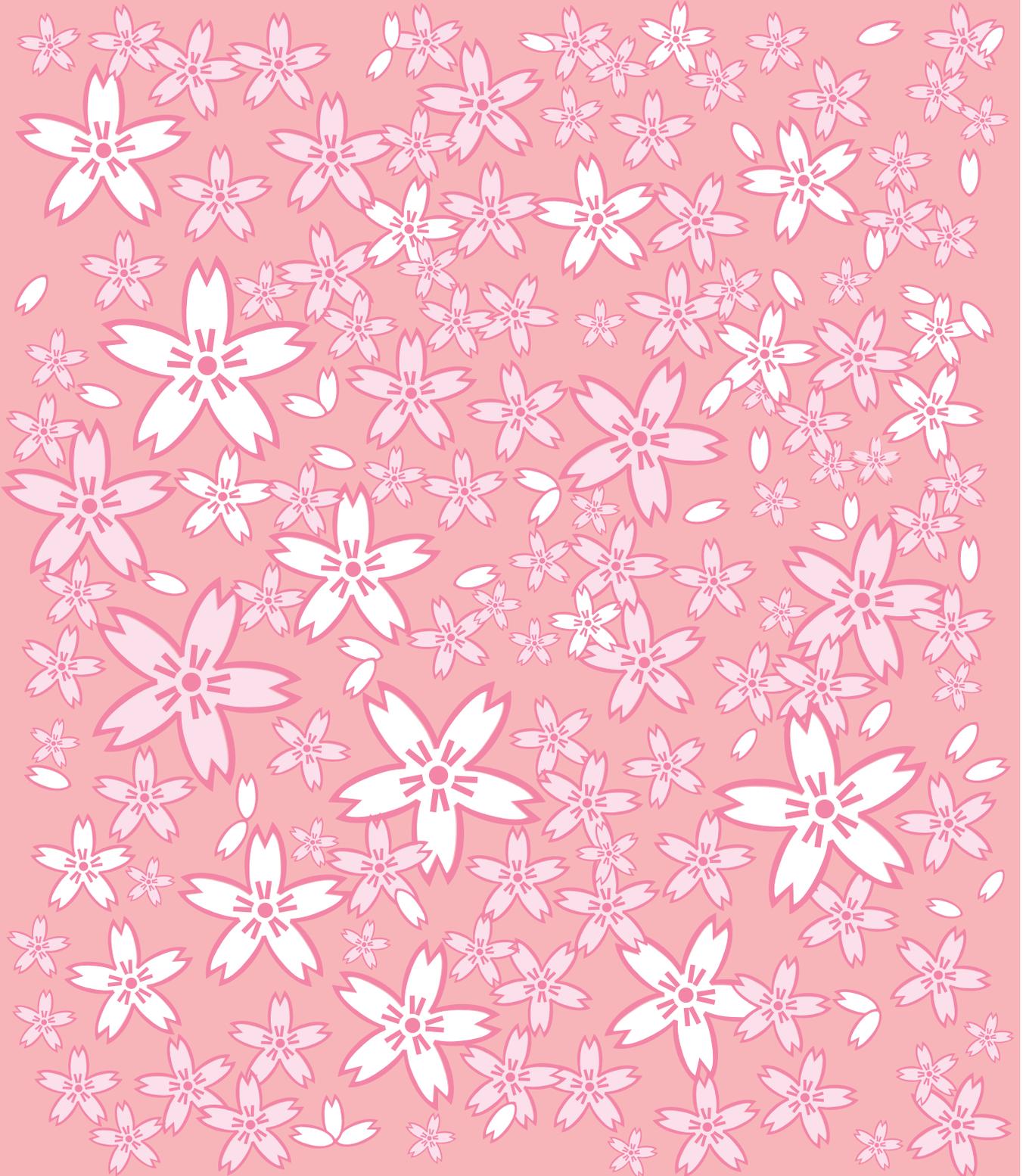
会報

春

No.193

2021.4

一般社団法人 北海道電業協会



電力保安を取り巻く環境と対応

経済産業省 北海道産業保安監督部長 本 間 登…………… 1

札幌市都市局との意見交換会…………… 2

技術講習会「自主検査と現場試験のポイント」…………… 3

シーケンス制御の基礎【実技】講習会…………… 4

～シリーズ～「私のいちおし」

北電力設備工事(株) 代表取締役 伏 木 淳…………… 5

～シリーズ～ 1 / 212便り

・日本一小さな市 ～歌志内市～

歌志内市長 柴 田 一 孔… 6～7

・海と山に囲まれた歴史・文化の色づくまち ～岩内町～

岩内町長 木 村 清 彦… 8～9

お知らせ

2021年「登録電気工事基幹技能者 認定講習」……………10

2021年「電気工事施工管理技術検定」受験講習会……………11

会員行動目標……………12

理事会・三役会・委員会報告……………13～14

事務局日誌……………15

編集後記……………16



電力保安を取り巻く環境と対応

経済産業省 北海道産業保安監督部長

本 間 登 (ほんま のぼる)

日頃から、産業保安行政に対する御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、電気保安の分野においても、感染症対策が必要となりました。これまでに例のない対応が必要な状況下において、必要不可欠な電気保安の業務に携わる皆様の御苦勞は、非常に大きなものになっていると思います。私たちが日々安全に電気を使用できるのは、現場で御尽力いただいている電気保安業界の皆様のおかげであり、改めて、敬意を表し、感謝申し上げます。

昨年、道内では、電気火災事故や作業者の感電負傷事故のほか、風力発電所等の電気工作物が破損する事故が発生しました。また、需要設備においても作業者の過失等が原因となった波及事故が発生しており、更なる事故の未然防止に向けた取り組みを行う必要がございます。

そのような中、電気保安を取り巻く環境に目を移しますと、保安人材の不足やインフラの老朽化等の産業構造の変化、自然災害の激甚化や感染症の流行等の社会リスクの増大など、様々な課題が取り巻いています。

そしてその一方で、電力システム改革、再生可能エネルギーの普及に伴い、近年では、AI等の新たな技術開発が進み、活用の幅が広がってきております。

そのため、経済産業省では、保安水準の維持を図りながら、IoT技術やAI・ドローン等の新技術

を活用し、生産性の向上と電気保安水準の確保を両立する「スマート保安」の実現に向け、産業保安高度化推進事業を実施しております。

また、電気工事士法施行規則を改正し、令和3年4月1日以降に第1種電気工事士免状の交付申請を行う場合、第一種電気工事士試験の合格日に関わらず、必要な実務経験年数を「5年以上」から「3年以上」に短縮する取組も実施しました。更に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ目的で、第1種電気工事士の定期講習の延期等を受け講習のオンライン化も実施しております。

私たちが安全に電気を利用し、安定した産業活動を行えていることは、会員の皆様を含め電気保安に携わる皆様方が、「高度な専門知識」と「電気保安のプロとしての誇り」を持ち、電気工作物の適正な設計、施工、維持、運用及び保守を通じて、日々、「電気」という重要な社会基盤を支えていただいているからこそ、成り立っているものと考えております。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意していただき、引き続き保安の確保に努めていただきますようご期待申し上げます。最後になりますが、北海道電業協会及び会員皆様方の今後ますますの御活躍と御健勝を祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

札幌市都市局との意見交換会



令和3年3月12日(金)北海道電気会館において、電気・空衛連絡協議会〔当協会と(一社)北海道空調衛生工事業協会で構成〕と札幌市都市局幹部の方々にご出席をいただき、意見交換会を開催いたしました。

両協会から会長、副会長、理事合わせて21名が参加し、札幌市都市局建築部からは中村 範仁設備担当部長、田中 政美機械設備課長、高松 静知電気設備課長が出席されました。

はじめに北海道空調衛生工事業協会の池田 薫会長から「コロナ禍の状況にあっても、設備業界は相変わらず技能者の担い手の育成・確保が大きな課題となっており、働き方改革への取組みも重要となっている。設備業界には安全で快適な生活環境を担う役割があり、これらの課題解決に向けた札幌市のご指導とご支援を今後ともお願いしたい。」と挨拶がありました。

続いて札幌市都市局の中村設備担当部長から「コロナ禍にあっても、今年度の札幌市発注工事はすべて竣工となる見込みであり、業界各社の感染防止対策や従業員の高い意識と努力に感謝申し上げます。建設業界と札幌市が課題に一体となって取組むための『札幌建設産業活性化プラン』を昨年5月に策定しており、今後も課題解決に向けたご協力をお願いしたい。本日は忌憚のないご意見を伺いたいと思っているのでよろしくお願いしたい。」と挨拶されました。

引き続き議事に入り、札幌市幹部の方から事業動向と今後の見通し、入札契約等の動向につい

て説明がありました。

両協会からは①長時間労働是正 ②分離発注の継続 ③安定的な工事量の確保の3点について要望させていただきました。

札幌市都市局から①について「週休二日制について今年度は営繕工事13件、このうち設備工事6件で達成を目指している。来年度は対象を拡大し、営繕工事21件、このうち設備工事14件で進める予定。なお週休二日達成に重要となる適正な工程管理や書類関係の簡素化に取り組んでいるので積極的なご協力をお願いしたい。」②について「地元企業に対し受注機会の確保に配慮してきており、特に電気・機械は専門的な知識が必要であるため競争性を阻害しない範囲で分離発注を継続していく。」③について「令和3年度建設費は1,004億円を計上しており8年連続1,000億円以上継続中である。また一般施設の長寿命化を目的とした保全推進事業を平成20年度から継続実施している。今後も相当規模の工事量が確保されるものと考えている。」と回答いただきました。

最後に当協会の吉本 浩昌会長からの閉会挨拶により、令和3年 札幌市都市局との意見交換会を終了しました。



中村設備担当部長

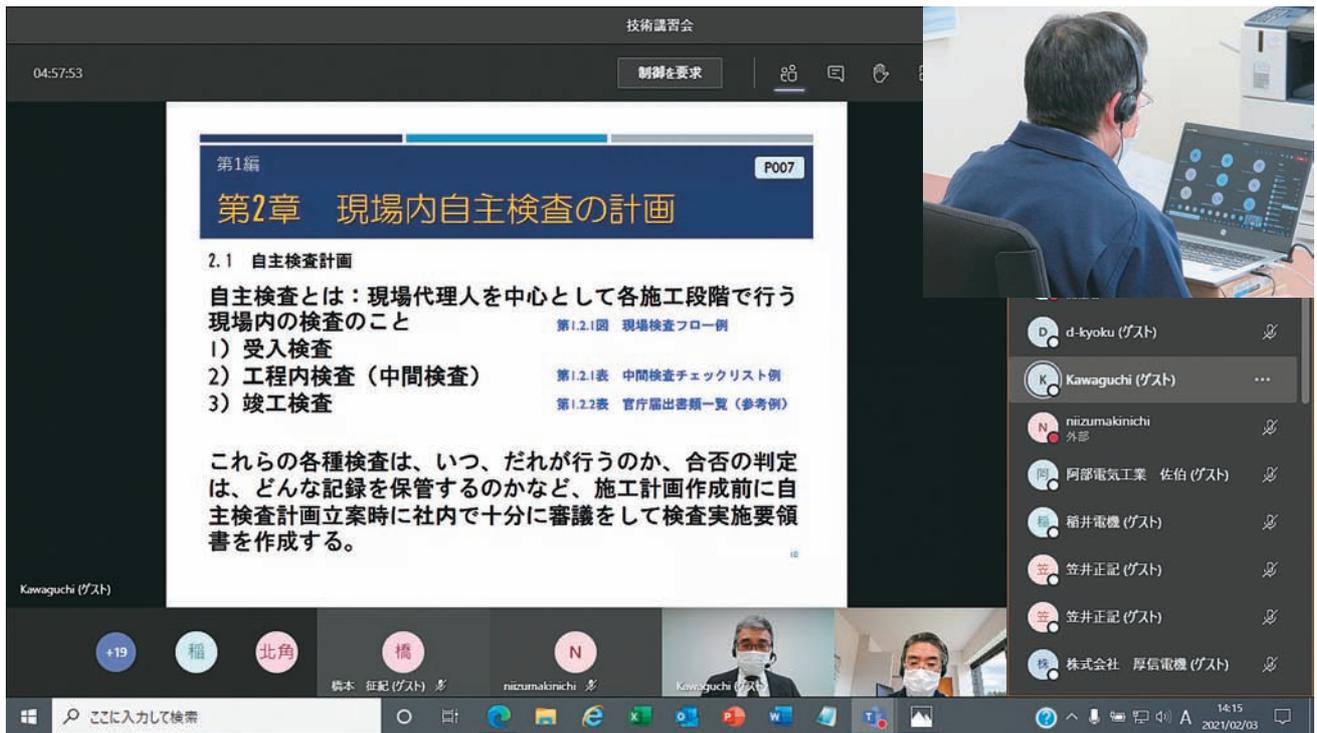


田中機械設備課長



高松電気設備課長

技術講習会「自主検査と現場試験のポイント」



令和3年2月3日(水)会員企業の技術者等を対象とした技術講習会が開催され、「自主検査と現場試験のポイント」をテーマに、19社24名の方が受講しました。

今回は、当協会では初めての試みとなる、Webセミナー方式（Microsoft Teamsを使用）による実施とし、講師と事務局が別々の場所から講習を進める形式としました。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の佐藤技術安全委員長（株きんでん）からの「コロナ禍の厳しい状況であっても、電設業界はエッセンシャル・ワーカーとして、社会経済に対する責任を果たす心構えをしっかりと持つことが重要。北海道電業協会では電設業界における人材育成や人材確保に向けた取り組みを主要な事業活動として位置付けており、今回はWebでの講習で限られた時間となるが、ぜひ今後の実務に役立てて頂きたい」といった内容の挨拶が紹介されました。

講師には、北海電気工事(株)電設工事部技術グループマネージャーの川口 博氏が(一社)日本電設工業協会本部から派遣されました。

講習会では、テキストとパワーポイント資料を使って、電気設備の自主検査の計画立案や実施方法、現場試験における進め方や測定のテクニックなどについて丁寧な解説がなされました。



川口講師

Webセミナーということで、受講者の表情や様子が分かりにくく難しい部分もありましたが、設定した時間の中で熱心な講義が進められました。

講習会の終了後、受講者からは「これからの仕事に参考となり今後も参加したい」「会場に足を運ぶ手間もなく、事務所で講習会に参加できるのは便利」「Web形式は初めての経験だったが、聞き取りやすく画面も見やすかった」「時間が足りなかったのが残念」といった声が寄せられました。

【講義内容】

- ・ 自主検査の動向
- ・ 現場内自主検査の計画
- ・ 自主検査
- ・ 最終検査（竣工検査）
- ・ 完成検査
- ・ 測定のテクニック
- ・ 現場試験の実際
- ・ その他測定の要点



シーケンス制御の基礎【実技】講習会



令和3年1月20日(水)会員企業の入社1～5年目程度の電気設備工事の実務者を対象とした「シーケンス制御の基礎【実技】講習会」が、北海電気工事(株)の協力のもと同社本店講堂にて開催されました。

今回は、会場内でのソーシャルディスタンス確保の必要性を踏まえ、受講人員を例年の半数程度とし、参加者の体温測定やアルコール消毒の徹底、スタッフのフェイスシールドの着用など万全な感染防止対策を行ったうえで、5名の受講者にて実施されました。

開催にあたって協会事務局より、協会が実施する会員会社の技術・技能の向上を目的とした講習会等のご案内の後、北海電気工事(株)電設工事部技術グループマネージャーの川口 博氏ほかスタッフの方々による講習会が開始されました。

午前中は、パワーポイントを使った講義により、制御盤の製作に必要な図面として、単線結線図、ブロック図(フロー図)、展開接続図(シーケンス図)、三線結線図(複線図)などへの理解を深めたあと、午後からは今回の目標である「フロートレススイッチを用いた手動・自動切替回路によるポンプの運転制御の理解」に向け、講師からの適切な指導を受けながら配線作業が進め

られました。

最後はブザー・シーケンスチェックと動作確認ということで、高架水槽給水方式をイメージしたポンプ運転制御の模擬装置による検証を行い、講習会を終了しました。

講習会終了後のアンケートでは、「講習会の内容が分かりやすかった」「シーケンスや高圧の仕事は、工事経験が長くてもあまり経験できないので講習会はありがたい」といった声が受講者から寄せられました。



【講義内容】

- 午前の部
 - ・単線結線図、ブロック図と展開接続図を理解する(講義)
 - ・制御機器、部品を理解する(講義+実技)
 - ・三線結線図、組立図と接続図を理解する(講義)
- 午後の部
 - ・配線作業を体験する(実技)
 - ・ブザー・シーケンスチェックと動作確認をする(実技)

～シリーズ～ 「私のいちおし」

北電力設備工事(株)

代表取締役 伏木 淳

株式会社一久（いちきゅう）の久木利弘社長とは、ある団体の活動を通して約5年半ほど懇意にさせていただいています。

「もち処一久大福堂」の名で親しまれている同社は、大福など餅菓子を中心とする和菓子の製造販売を行う会社ですが、大正13年に旭川にて創業し（間もなく創業100年）、現在の利弘社長が昭和62年帰郷して入社した時に法人化し、現在では、札幌、旭川、函館の百貨店や地下鉄駅周辺など計13店舗を構え、従業員100名を近く抱える企業にまで発展されています。

同社の特徴としては、時代に合わせた改良を行いながらも、伝統の製法を大切にしている点にあります。特に、北海道産の材料にこだわり、餡は美瑛産の小豆を時間をかけてじっくり丁寧に炊き上げており、餅は極力日持ちするための添加物を使わず、素材本来の味を楽しんでいただくようにしているとのことです。



また、和菓子を伝統的な製法で作る、それを管理・販売して行くにはそれなりの人材が必要ですが、同社は人材育成には特に力を入れており、任せられる人が育った時に店舗するとの方針を採られています。そして、各店の品揃えも、約3割は、各店舗に任せ、店長と店員にて地域特性等も考えながら構成しているとのことです。



清田店渡邊店長（左）、押谷取締役（右）と一緒に

2月初旬に、本社に隣接する清田店を訪問し、押谷取締役と渡邊店長（入社16年）にお話を伺って来ました。昨年は、



コロナ禍の影響にて百貨店の閉店期間もあり、卒業式や卒園式の紅白餅の注文がキャンセルとなるなどご苦労されたそうです。一方、コロナ感染対策として、清田店でドライブスルー方式を導入するなど色々取り組まれています。このドライブスルー沿いのフェンスには、子どもに人気の「シマエナガちゃん」(北海道新聞の「週刊まなぶん」に漫画が掲載中)が描かれており、車に乗ってきた子どもにも喜んでもらうことを意図しています。

そして、渡邊店長は、現在「シマエナガちゃん」をモデルにした子ども向けのお菓子を開発中のことで、ぜひ、人気商品が生まれるようお祈りします。現在のお客さんは40～60代が中心ですが、餅文化を次の世代につなげて行くために若い世代やお子さんたちに向けて商品づくりにも取り組んで行かれるとのことです。

私も、所属する団体の懇親行事のお土産などで、同社のお菓子詰め合わせを活用させていただいています（最中など日持ちする商品もあります）。また、お祝いごとでの紅白餅などでも同社が有名ですのでご用命されてはいかがかと思えます。



会社名 株式会社一久

店舗名 「もち処一久大福堂」

販売品 大福餅、苺大福、串団子、豆餅、のし餅、草餅、おはぎ、饅頭、カステラ、どらやき、羊羹、クルミ最中、米菓子、おかき、その他季節商品など各種

店 舗

【旭川・函館】 旭川本店、フィール旭川店、旭川空港店、丸井今井函館店

【札幌市内百貨店】 三越店、大丸札幌店、丸井今井札幌店

【地下鉄駅周辺】 札幌琴似店、札幌南郷8丁目店、東区役所店、札幌月寒中央店（36号線沿）、札幌円山店（北1西24）

【本社隣接】 清田ミニショップ（ドライブスルー有り、清田1-3-7）



日本一小さな市 ～歌志内市～

歌志内市長 柴田 一 孔



■まちの概要

◎人口・面積

人口：3,016人（令和3年3月1日現在）

面積：55.95km²

◎概要

歌志内市は、北海道のほぼ中央、石狩平野の東北端の山間に位置しています。かもい岳を中心に、夏は心地よい風が通り抜ける過ごしやすい気候で、山々に恵まれ、冬は玄関を出て5分でゲレンデに到着することができます。春や秋のかもい高原では北海道の雄大さを感じられる幻想的な雲海が発生し、感動を与えてくれます。人口は約3千人と市としては日本一小さいですが、秀峰や自然に囲まれて住む人や訪れる人を魅了します。

◎地名の由来

市内を西に向かって二分して流れる「ペンケウタシュナイ川」の名に由来しており、アイヌ語で、「砂のたくさんある沢」という意味です。明治24年に北海道炭鉱鉄道株式会社の鉄道開通の際、その意をとって歌志内と称し、これを地名としました。

◎歴史

歌志内は、明治23年（1890年）北海道炭礦鉄道空知採炭所が開坑し、炭鉱を産業の基幹としたまちが形成され、歌志内の歴史が始まりました。明治30年（1897年）に「歌志内村」を設置、昭和15年（1940年）には町制が施行され、「歌志内町」となりました。当時は、空知管内の一大炭鉱都市であり、昭和23年（1948年）には本市史上最大の4万6,000人を記録、その後、昭和33年（1958年）に市制が施行され「歌志内市」となりました。平成29年（2017年）には、歌志内誕生120年、平成30年（2018年）には、市制施行60周年を迎えることができました。

■歌志内市の魅力

◎特産品

歌志内市の特産品で紹介したいのは「なんこ」です。馬の腸を茹でて、柔らかくなるまで1時間以上煮込み、味噌で味付けした郷土料理です。炭鉱時代から愛されてきた歌志内市の名物です。



◎イベント

<うたしない市民祭り「SYOTTEKE」>

7月の第2日曜日、うたしない市民祭り「SYOTTEKE」が開催されます。石炭神輿が会場を練り歩くほか、子ども神輿や太鼓演奏、よさこいの演舞等が行われます。毎年、屋台や縁日も並び、多くの市民が参加する、1日中楽しめるお祭りです。



<歌志内なまはげ祭り>

2月の第1日曜日、「歌志内なまはげ祭り」が開催されます。秋田県南鹿半島地方の行事として知られる「なまはげ」に、独自のアレンジを加えています。全身に「みの」をまとい、大きな鬼面をかぶった男たちが「なまはげ」に扮し練り歩く姿は迫力満点。特設会場でのイベントのほか、市内の事業所や家庭などを訪問し「商売繁盛」「家内安全」を祈願します。毎年、市外からも多数の来場者があります。

◎観光スポット

<かもい岳の雲海>

中空知一円を見渡すことができるかもい岳の山頂では、春または秋の夜明けから早朝にかけて条件が整えば、一面に広がる雲海を望むことができ



ます。標高467mの山頂から望む、広大な雲海はまるで大海原に浮かぶ小島に立っているような、雄大で幻想的な感動を与えてくれます。風の穏やかな歌志内ならではの、見た人にしか味わえない絶景が堪能できます。

<かもい岳スキー場>

2019年から休止していたかもい岳スキー場が、民間資本により2シーズンぶりに再開しました。2020年シーズンは東側ゲレンデのみのオープンとなりましたが、初心者から上級者まで幅広い層が楽しめるゲレンデは、スキーヤーはもちろん、スノーボーダー・クロスカントリースキーヤーにも大人気です。大自然の中で思いきりウィンタースポーツを楽しめます。



<うたしないチロルの湯>

旧炭鉱の採掘坑より毎分650リットル湧出している天然温泉で、若返りの湯、美肌の湯として人気の高い「チロルの湯」は、露天風呂が楽しめるほか、寝湯、サウナ、バブル湯、壺湯、ブラックシリカ休憩所などバラエティ豊かな設備が備わっている自然に囲まれた温泉施設です。



<サイクリングロード>

歌志内には、旧JR歌志内線跡地を整備した、全長約9kmのサイクリングロードがあります。市内を縦断するこのサイクリングロードには、エゾヤマザクラが植えられており、春の日差しをまぶしく感じる5月上旬ごろには、温かい陽気にさそわれて、つぼみだった花びらが一気に咲き誇ります。満開を迎えたころには、サイクリングロードを包み込むように桜のトンネルが完成し、散歩やサイクリングなどを楽しむ多くの市民の姿が見られます。



◇歌志内市ホームページアドレス

<https://www.city.utashinai.hokkaido.jp/>



海と山に囲まれた歴史・文化の色づくまち ～岩内町～

岩内町長 木村清彦



■まちの概要

岩内町は、北海道の南西部に位置し、東西12.8km、南北9.9km、総面積は70.60km²と道内では6番目に小さなまちです。

地勢的には、北は岩内湾を介して積丹半島、西は日本海、南は岩内岳やニセコ連峰の山並みが連なり、東は共和町と一体的な岩内平野を擁しています。

特に、南西部の雷電海岸から岩内岳にかけては、ニセコ積丹小樽海岸国立公園に指定されており、岩内岳山麓の円山地区を含め、豊富な温泉資源にも恵まれた景勝地となっています。

気候は、平成25年の年間平均が9.2℃、最高気温が30.5℃、最低気温が-12.8℃となっており、日本海沿岸としては概ね温暖です。年間雨量は845mmとさほど多くはないものの、冬季には北西からの強い季節風が吹きます。

本町は、昭和29年の大火により市街地の8割を焼失しましたが、岩内人の不撓不屈の精神により、わずか3年で近代都市に生まれ変わりました。

■岩内町の観光スポット

◎自然・景観

美しい日本海の海岸線、ニセコ連峰の山並みに囲まれた世界でも希な恵まれた自然環境に抱かれた岩内町。

岩内岳の裾野にある円山展望台からの夜景は、平成30年に日本夜景遺産に認定された自慢の景色。岩内町の街明かり、日本海の海岸線や積丹半島の山並みを一望できる景色は、時間帯や四季折々で変化を楽しむことができます。

また、市街地から車で15分程のところに位置する雷電岬には、弁慶が休憩した際に岩をひねって大刀を掛けたという様々な伝説が伝えられる「弁慶の刀掛岩」があり、そこから見える夕日とのコントラストはなんとも美しく、また、春には、岩内神社の3つの鳥居に配された桜並木は見事で、桜の名所としても多くの人に親しまれています。



岩内神社の桜並木



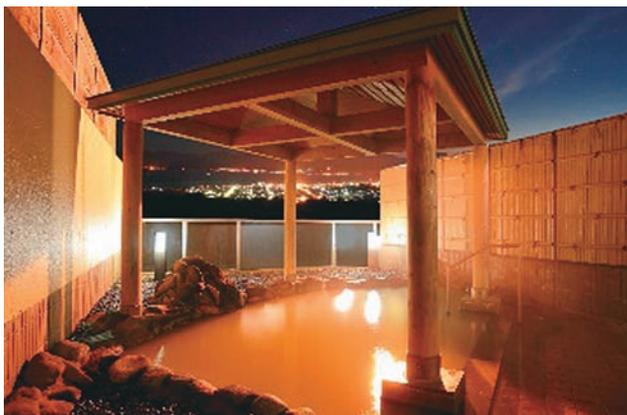
雷電岬 弁慶の刀掛岩

◎いわない温泉郷

岩内岳の中腹に位置する円山エリアには、国が定める療養泉で専門家が認める道内16の温泉地である「いわない温泉郷」があります。

いわない温泉は、半径約500mの狭い地域で、炭酸水素塩泉の泉質で肌を滑らかにする「美肌の湯」と、塩化物泉の泉質で温熱効果が高い「温まりの湯」の2種類の温泉が湧き出る希少なエリアです。

両方の温泉ともに、全国的にも誇れるミネラル分が豊富な温泉水であり、5つのホテル・旅館では、源泉100%の高温泉で海と夜景の絶景を堪能しながら温泉を楽しむことができます。



◎オートキャンプ場マリレビュー

町の円山エリアに位置し、センターハウスや炊事棟、ログハウス風のコテージに遊具広場など、充実した施設と設備を誇る本格的オートキャンプ場です。

日本海や積丹半島を望むロケーションも魅力で、夜には町の夜景や漁火、満天の星空が楽しめることから、多くのキャンパーから愛されるキャンプ場です。



オートキャンプ場マリレビューの夜景

◎いわないパークゴルフ場

公益社団法人日本パークゴルフ協会公認の36ホールを有し、日本海を一望する景色を見下ろしながらプレーを楽しむことができるパークゴルフ場です。

変化に富んだ20mのショートから95mのロングまでバラエティに富んだコースが揃っているほか、攻略に悩むアップダウンの難コースもあり、初級者から上級者まで飽きさせないパークゴルフ場です。

■岩内町のお祭り

◎岩内神社例大祭

毎年7月7日から9日に開催し、200年以上の歴史を持つ古式ゆかしいお祭りです。

お神楽の音色に導かれ、雄壮な二基の御神輿と町無形文化財「赤坂奴」の行列が街中を練り歩きます。

最終日の夜には、全面通行止めの国道から神社境内まで行われる神輿渡行は迫力満点です。夏の岩内町が一番盛り上がる3日間、是非一度ご覧ください。



◇岩内町観光ポータルサイト
iwanai-kanko.jp



お 知 ら せ

2021年「登録電気工事基幹技能者 認定講習」

【申込受付期間】

2021年7月20日(火)～8月20日(金)まで

【開催日】

2021年10月30日(土)～31日(日) 2日間

【開催場所】

北海道建設会館

(札幌市中央区北4条西3丁目1)

【受講資格者】

(1) 認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。

- ① 電気工事の直接施工業務に従事して、該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があること。
- ② 労働安全衛生法第60条による建設業としての職長教育（施行令第19条あるいは施行規則第40条）を修了して、受講申込日までに3年以上の職長経験を有している者。
- ③ 第一種電気工事士免状を取得していること。

(2) 条件を満たす証明書類は次の書類を添付する。

- ① 実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実に相違がない旨の誓約書（署名、捺印）が必要。
- ② 職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による建設業としての職長教育修了証の写し。
- ③ 第一種電気工事士免状の写し。

【受講料】

18,840円（講習免除者は9,420円）

- ・受講料には、受講費、教材費、修了証発行費用が含まれます。
- ・講習免除者とは、2019あるいは2020年の認定講習を受講し、修了試験で不合格となった者。
- ・2020年の修了証有効期限を6カ月以上経過し、1年未満の者。

【申込方法】

所定の申込用紙により(一社)日本電設工業協会北海道支部（北海道電業協会）に提出。

申込用紙は、(一社)日本電設工業協会のホームページからダウンロード願います。

※受講定員に達し次第締め切り

2021年「電気工事施工管理技術検定」受験講習会

※主催会社の判断により、変更となる場合があります。

○ 1級 第一次検定

【申込期限】

Aコース（会場参加型講習会） 講習会実施初日の8日前まで

Webコース（動画配信） 試験日の約3週間前まで

【開催日】

Aコース 2021年4月22日(木)～23日(金) 2日間（開催地：札幌）

Webコース 2021年4月30日(金)～6月13日(日)

【申込方法】

◆一般財団法人 地域開発研究所ホームページから (<http://www.ias.or.jp>)

・方法1～直接申し込みができます。

・方法2～FAX申込用紙をプリントアウトして申し込みができます。

【開催場所】

北海道建設会館

（札幌市中央区北4条西3丁目1）

【試験日】

2021年6月13日(日) 合格発表 2021年7月16日(金)

○ 1級 第二次検定

【申込期限】

Aコース（1日講習会＋施工経験記述添削指導） 7月27日(火)まで

Bコース（1日講習会） 講習会実施初日の8日前まで

Webコース（動画配信＋施工経験記述添削指導） 7月27日(火)まで

Webコース（動画配信） 試験日の約3週間前まで

【開催日】

A・Bコース 2021年9月3日(金) 1日間（開催地：札幌）

Webコース 2021年8月30日(月)～10月17日(日)

【申込方法】

1級 第一次検定に同じ

【開催場所】

北海道建設会館

（札幌市中央区北4条西3丁目1）

【試験日】

2021年10月17日(日) 合格発表 2022年1月28日(金)

会 員 行 動 目 標

第一 法令等の社会ルールを守る

1. 事業者倫理に則った公正な事業活動

社会を構成する一員として、事業者倫理に則って公正な事業活動を行う。また、これに必要な体制の整備に努めるものとする。
2. 関係法令の遵守の徹底等

電気設備工事業全般に関係が深い建設業法、電気工事業法、労働安全衛生法等にかかる立法の精神に沿って、厳正な法令遵守に努める。

特に工事の入札に関しては、独占禁止法等諸法令に違反して入札の公正・公平を阻害する行為を行わない。また、社会から疑惑を持って見られかねない組織に加わらない。
3. 政治、行政との健全な関係の確保

政治、行政との健全な関係の確立に留意する。いかなる場合にあっても、贈賄行為や政治資金規正法等に違反する行為を行わない。
4. 反社会的勢力の排除

企業を取り巻く反社会的勢力からの不当な要求に応じない。問題が発生した場合又はその虞がある場合には、速やかに警察の協力を求める。

また、反社会的勢力を利用する行為は絶対に行わない。

第二 適正な事業活動を通じて社会的使命・役割を遂行する

1. 良質な製品・サービスの提供

顧客や社会の期待と信頼を直視し、生産性の向上や品質の改善を図り、適正価格で良質な製品・サービスの提供を行う。これに必要な経営の合理化、技術開発の促進、生産システムの改善、人材の確保・育成、安全対策の強化等に努める。
2. 適正で節度ある市場競争の展開

良質な製品・サービスの提供と電気設備工事業の健全な発展を実現するため、コストを度外視した安値受注（いわゆるダンピング受注）は行わない。また、技術力、施工能力等を考慮し、経済合理性に立った節度ある受注活動を行う。
3. 電気設備工事における分離発注の拡大

独自の技術・施工体制を有し、高度な専門分野を形成している電気設備工事分野において、顧客ニーズへの対応、品質の確保、施工責任とコストの明確化等の観点から合理的な分離発注が拡大されるよう、関係各方面に対し積極的に働きかけを行う。
4. 建設生産関係者との公正で合理的な関係の構築

建設生産におけるあらゆる関係者（顧客、設計・工事監理者、元請事業者、下請事業者、資機材事業者等）との公正で合理的な関係の構築に努める。
5. 情報開示及び社会各層とのコミュニケーションの展開

事業活動に関わる必要な情報開示を行うほか、顧客、株主、マスコミなど社会各層とのコミュニケーションを積極的に行う。
6. 環境問題への取組み強化

事業活動全般にわたって公害防止、省エネルギー化、廃棄物の削減・適正処理・リサイクルに努め、地球環境問題を含めた様々な環境問題への取組みを強化する。
7. 社会貢献への努力

あらゆる事業活動が社会に支えられているとの認識に立ち、「良き市民」として社会から厚い信頼を受けることは、緊要である。このため、各会員は、事業活動の各面において積極的な社会貢献に努める。

（平成18年11月制定）

理事会・三役会・委員会報告

理 事 会

◇令和3年1月29日(金)

第6回議題

【協議事項】

1. 次期定時総会等の開催内容の変更について
2. 「任期満了に伴う役員改選」に係る定時総会までの対応について
3. 会費等級格付けの見直し結果について
4. 令和3年度の徴収会費と収支予算案の策定について
5. 令和3年 電気記念日の事業実施に伴う後援のお願い

【報告事項】

1. 令和2年度 技術講習会（座学）の開催について
2. 令和2年度 電設業関連4団体懇談会の開催中止について
3. 令和2年度 電気・空衛連絡協議会及び幹事会並びに札幌市都市局との意見交換会の開催について
4. 会員の諸変更について
その他意見交換

三 役 会

◇令和3年1月12日(火) 12:00~13:30

第7回議題

【協議事項】

1. 会費等級格付けの見直し及び令和3年度の収支予算案の策定について
2. 「任期満了に伴う役員改選」に係る定時総会までの対応について
3. 当面の他団体恒例行事への対応について
4. 令和3年 電気記念日の事業実施に伴う後援の依頼について

【報告事項】

1. 令和2年度 電設業関連4団体懇談会の開催中止について
2. 令和2年度 技術講習会（実技、座学）の開催について
3. 電気・空衛連絡協議会及び幹事会並びに札幌市都市局との意見交換会の開催について
4. 会員の諸変更
5. 令和3年1月~2月の行事予定について
その他意見交換

◇令和3年2月15日(月) 12:00~13:30

第8回議題

【協議事項】

1. 次期定時総会について
 - ① 役員改選に係る候補者の選定について
 - ② 定時総会準備スケジュール（案）
 - ③ 来賓予定者への合同懇親会中止の通知（案）について
 - ④ 令和3年度 スローガン（案）について

【報告事項】

1. 令和3年2月~3月の行事予定について
その他意見交換

◇令和3年3月9日(火) 12:00~13:30

第9回議題

【協議事項】

1. 定時総会の付議内容等について

【報告事項】

1. 北海道電業協会 功績表彰候補者について
2. 会員の諸変更について
3. 令和3年3月~4月の行事予定について
その他意見交換

総務委員会

◇令和3年3月19日(金) 12:00~13:30

第4回議題

【報告事項】

1. 令和2年度 総務委員会事業実施報告について
2. 令和3年度 総務委員会事業計画（案）について
3. 北海道電業協会 功績表彰候補者の選考及び推薦について
その他意見交換

厚生委員会

◇令和3年3月29日(月) 15:30~17:00

第2回議題

1. 令和2年度 厚生委員会事業実施報告について
2. 令和3年度 厚生委員会事業計画（案）について
3. 令和3年度 予算（案）について

経営委員会

◇令和3年3月23日(火)（書面開催）

第4回議題

1. 第294・295回本部政策委員会の開催概要について
2. 令和2年度 経営委員会事業実施報告について
3. 令和3年度 経営委員会事業計画（案）について

広報委員会

◇令和3年3月16日(火) 15:00~17:00

第4回議題

1. 令和2年度 広報委員会事業実施報告について
2. 令和3年度 広報委員会事業計画（案）について
3. 会報「春号」の校正について
その他意見交換

技術安全委員会

◇令和3年3月24日(水)（書面開催）

第3回議題

1. 令和2年度 技術安全委員会事業実施報告について
2. 令和3年度 技術安全委員会事業計画（案）について

事務局日誌

- 1月4日(月)・仕事始め
- 1月12日(火)・第7回三役会議
- 20日(水)・シーケンス制御実技講習会
(北海電気工事(株) 鎌田事務局長)
- 22日(金)・電設協本部常任理事会
(東京) 吉本支部長
- ・赤レンガ建築賞第2回実行委員会
(第2水産ビル) 宇野専務理事
- 26日(火)・技術安全委員会
(北海道電気会館)
- 28日(木)・札幌市災害時伝達訓練
- 29日(金)・第6回理事会・常議員会
(北海道電気会館)
- 2月3日(水)・技術講習会
(Web開催) 鎌田事務局長
- 15日(月)・第8回三役会議
- 3月9日(火)・第9回三役会議
- ・電設協本部政策委員会
(書面開催) 笠島経営副委員長
- 12日(金)・電気空衛連絡協議会幹事会
- ・電気空衛連絡協議会
- ・札幌市都市局との意見交換会
(北海道電気会館)
- 16日(火)・第4回 広報委員会
(北海道電気会館)
- 19日(金)・第4回 総務委員会
(北海道電気会館)
- 23日(火)・第4回 経営委員会 (書面開催)
- 24日(水)・電設協本部理事会 (Web開催)
- ・第3回 技術安全委員会
(書面開催)
- 30日(火)・第7回 理事会・常議員会
(北海道電気会館)

編集後記

この度は、会報誌「春号」の発刊にあたり、経済産業省北海道産業保安監督部長の本間 登様に「電力保安を取り巻く環境と対応」とのテーマにてご寄稿いただき、心より感謝申し上げます。電力システムの改革、再生エネルギーの普及拡大、AI等の新技術の導入など、新たな時代のニーズに対し、私ども電設業界も、経済産業省をはじめ諸官庁の更なるご指導を賜りながら取り組んでまいり所存です。そして、市民生活や経済活動が、より一層安全・安心に行えるよう、「電気保安」という重責を担っていければと思います。

さて、当協会の広報誌は、従来は年4回発行しておりましたが、令和3年度より、皆様にお伝えする内容を更に充実した上で年3回の発行と変更させていただきます。併せて、今後は協会ホームページも内容を充実してまいりますのでぜひご覧いただければ幸いです。

最後に、日本でもようやく新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されました。全国民に行き渡るには多少時間はかかると思いますが、1日も早くコロナ禍以前の「平常」が戻って来ますよう祈る次第です。

広報副委員長 伏木 淳



発行 令和3年4月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp
<http://www.dodengyo.jp/>